



創価大学

Discover your potential
自分力の発見

SOKA UNIVERSITY
SCHOLARSHIP GUIDE

奨学金ガイドブック

2021

2020年度より、 国の「高等教育の修学支援新制度」が開始されました

「高等教育の修学支援新制度」は、所得が低い家庭でも大学に進学できるよう、経済的負担を軽減することを目的として国が実施する制度です。

支援を受けるためには、在籍している学校（受験生は高校等）に申し込み、対象者となることと、国の要件を満たした大学・短大等に進学することが条件になります。創価大学も対象校として承認されました。

支援の対象者が、対象となる大学等に進学した場合、「入学金および授業料の減免」と「給付型奨学金」の両方の支援が家計に応じて受けられることとなります（3段階）。例えば、創価大学経済学部に入學した自宅外通学生が、支援の対象となった場合の支援額の合計は、最大で1年次は約170万円、4年間で約620万円の奨学金（減免・給付）が受けられることとなります。

※学部・通学形態・生活保護等の世帯で支援額が異なります。家計・成績における継続審査があります。

※詳細は本冊子の「高等教育の修学支援新制度」の部分をご確認ください。

創価大学では、これまで独自の奨学金制度を実施し、経済的に修学が困難な多くの学生を支援してきました。「高等教育の修学支援新制度」実施に伴い、より幅広く学生が支援を受けられるようにするため、これまでの制度を総合的に見直し、本学独自の奨学金制度について、変更を行いました。

○創価大学独自の奨学金制度の主な変更点

- ・「学費減免型奨学金」を「給付型奨学金」に変更
- ・入学前に受け付けていた「創価大学創友給付奨学金」の募集は行わず、入学後に出願を受け付ける「創価大学創友会奨学金」を新設

創価大学は、これからも学びたい学生の 経済的サポートをしていきます

POINT 1 すべて返還義務のない奨学金制度

一般的に奨学金には、卒業後返還が必要な「貸与型奨学金」と返還義務のない「学費減免型奨学金」「給付型奨学金」があります。学生のみなさんが安心して学業に取り組めるよう、創価大学独自で実施している奨学金はすべて返還義務のない給付型奨学金です。

POINT 2 学費の負担を軽減

創価大学の2020年度入学生の学費はどの学部も全国平均より低く設定されています。全国の文系学部の初年度納付金（入学金や学費の合計）は約124万円ですが、創価大学は110万円（経済・経営・法学部）です。

さらに、創価大学の実施する給付型奨学金に採用になり、学費半額相当の給付が受けられた場合、創価大学の文系学部は約70万円の負担となり、国立大学の初年度納付額（約82万円）よりも負担が軽減されます。



入学金・学費

■納付金 (2020年度実績)

内訳	経済・経営・法学部	文・教育学部	理工学部	看護学部	国際教養学部	
入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	
学費等諸納付金 (春学期分)	授業料	300,000	310,000	450,000	425,000	420,000
	在籍料	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	教育充実費	120,000	120,000	130,000	130,000	120,000
	実習費	-	-	40,000	75,000	-
諸費	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	
春学期分合計	469,000	479,000	669,000	679,000	589,000	
秋学期分合計 (春学期分の合計から学友会費を除く額と同額)	450,000	460,000	650,000	660,000	570,000	
初年度納付金合計	1,119,000	1,139,000	1,519,000	1,539,000	1,359,000	

※入学金・学費・諸費は改定されることがあります。

※2年次以降の納付額は上表から入学金・学友会費を除く金額となります。

★特設課程登録について

教職課程などの特設課程を希望する場合、登録時に「特設課程登録費」(15,000円～25,000円)が必要になります。特設課程のなかで教育実習に参加する場合、「教育実習登録費」(25,000円)が必要になります。

★看護学部について

看護学部は一般社団法人日本看護学校協議会共済会が運営する総合補償制度(Will2)の保険料(年間保険料4,500円)が別途、毎年必要になります(保険料変動あり)。

★国際教養学部について

国際教養学部の学費には、留学にともなう往復航空運賃、留学先授業料、海外傷害保険料が含まれています。

その他の留学に必要な費用(ビザ代、寮費・ホームステイ費、留学先大学健康保険費、食費、交通費等)は含まれておりません。

留学先での生活状況や為替の変動により必要な費用は変わりますが、年間60万～100万円程になる見込みです。

■学費納付期限

	入学金	1年次		2年次以降	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
原則年2回分割納付	合格発表後1～2週間	入学前3月上旬頃	11月上旬	5月下旬	11月上旬

■寮費納付期限

入寮費	選考結果発表後1～2週間
舎費・食費	3月上旬頃

※入寮費は全寮一律5万円です。

※2回払いも選択できます。2回払いの場合、秋学期分は11月上旬頃の納付です。

寮 費

※以下の内容は2020年度募集段階の情報です。
今後変更される場合があります。

国際学生寮	部屋	募集人数	入寮費	寮費	
男	滝山国際寮	1人	約350名	50,000円	603,000 ^{※2} (10ヶ月分)
	万葉国際寮	1人	約120名	50,000円	378,000 (10ヶ月分)
女	創春寮	2人	約80名	50,000円	308,000 (10ヶ月分)
	サンフラワーホール	1人	約30名	50,000円	346,000 (10ヶ月分)

学部7寮	部屋	募集人数	入寮費	寮費	
男	滝山中寮	10人 ^{※1}	約80名	50,000円	428,000 ^{※2} (10ヶ月分)
	宝友寮	2人	約150名	50,000円	543,000 ^{※2} (10ヶ月分)
女	白萩寮	2人	約80名	50,000円	288,000 (10ヶ月分)
	朝霧寮	2人	約40名	50,000円	288,000 (10ヶ月分)
	桜香寮	2人	約110名	50,000円	288,000 (10ヶ月分)
	陽光寮	1人	約40名	50,000円	548,000 ^{※3} (12ヶ月分)
	香峯寮	2人	約40名	50,000円	263,000 (10ヶ月分)

※1 滝山中寮は、10人部屋ですが個人スペースもあります。

※2 滝山国際寮・滝山中寮・宝友寮は寮費の中に食費(220,000円/朝夕)が含まれています。

※3 陽光寮は別途個人負担で、水道・光熱費を支払います。

※ 入寮・寮費については、変更する場合があります。

参考データ：1か月あたりの生活費

私立大学生の居住形態別支出金額 (千円未満四捨五入)

	自宅	寮	下宿
修学費	4,000	4,000	4,000
課外活動費	2,000	6,000	3,000
通学費	8,000	1,000	2,000
食費	9,000	21,000	23,000
住居・光熱費	-	28,000	38,000
保健衛生費	3,000	3,000	3,000
娯楽・嗜好費	13,000	11,000	13,000
その他の日常費 (通信費含む)	12,000	12,000	13,000
合計	51,000	86,000	99,000

※日本学生支援機構 平成30年度学生生活調査より抜粋



創価大学が独自で実施している返還不要の奨学金

経済的に困難な学生を支援するための奨学金

○家計収入基準（1～3の奨学金制度に適用）

主たる生計維持者の年収が、給与(年金)所得の場合は収入金額(課税前)が600万円未満、事業所得の場合は所得金額が250万円未満であること

※以下1～4の奨学金制度と、国の「高等教育の修学支援新制度」とは併給できません。

1 創価大学給付奨学金

給付型・返還不要

出願	春学期に開催する奨学金出願ガイダンスにて説明
給付額	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を給付(当該年度秋学期に一括給付)
採用人数	100名以内
採用期間	1年間 ※毎年出願可能
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生

※上記「文系学部」は経済・経営・法・文・教育・国際教養学部です。

2 創価大学牧口記念教育基金会学部生奨学金

給付型・返還不要

出願	春学期に開催する奨学金出願ガイダンスにて説明
給付額	全学部 20万円(当該年度秋学期に一括給付)
採用人数	全学部 110名
採用期間	1年間 ※毎年出願可能
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生

※①「創価大学給付奨学金」不採用者のなかで家計困窮度の高い者から順に採用されます。

3 創価大学創友会奨学金

給付型・返還不要

出願	春学期に開催する奨学金出願ガイダンスにて説明
給付額	全学部 20万円(当該年度秋学期に一括給付)
採用人数	全学部 75名
採用期間	1年間 ※毎年出願可能
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生

※①「創価大学給付奨学金」②「創価大学牧口記念教育基金会学部生奨学金」不採用者のなかで家計困窮度の高い者から順に採用されます。

4 兄弟姉妹同時在籍者への給付奨学金

給付型・返還不要

申請	4月初旬に開催する「兄弟姉妹同時在籍者への給付奨学金ガイダンス」にて案内
対象者	兄弟姉妹が創価大学・創価女子短期大学に在籍している新入生
給付額	兄弟姉妹の同時在籍が2人目の場合、新入生に対し入学後「入学金半額」(10万円)を給付 兄弟姉妹の同時在籍が3人目以降の場合、新入生に対し入学後「入学金全額」(20万円)を給付

※条件を満たす申請者は全員採用となります。

※兄弟姉妹が大学院または通信教育部に在学している場合、および編入学、転入学、再入学した学生は申請の対象者から除きます。

成績優秀者を奨励するための奨学金

5 創価大学特別奨学生

給付型・返還不要

入学試験の成績優秀な合格者に奨学金を給付します。

給付額	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を給付(1年次は春学期に一括給付、2年次以降は半期ごとに給付)			
入試	公募推薦入試	大学入学共通テスト利用入試(前期)	ハイブリッド型入試	大学独自問題型入試
採用人数	8名	100名	8名	15名
採用期間	4年間 ※学業成績による継続審査あり			
対象者	全受験生(特別な申請手続きは不要・採用者には合格通知に記載)			

※上記「文系学部」は経済・経営・法・文・教育・国際教養学部です。

6 Learning Agreement (LA) 奨学生

給付型・返還不要

大学入学共通テスト利用入試（前期3科目方式／4科目方式）において、高い得点率での合格を条件に、奨学金の給付と特典を受験前に先行確約する制度です。

給付額	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を給付（1年次は春学期に一括給付、2年次以降は半期ごとに給付）
特典	・GCP（Global Citizenship Program）、法学部GLP（Global Lawyers Program）、経済学部HOPE（Honors Program in Economics）希望者には、入学後に実施する各プログラムの選考試験を免除し、受験前に受講を先行確約 ・創友会ふるさと給付奨学金（70万円）を給付
採用人数	若干名
採用期間	4年間 ※学業成績による継続審査あり

※上記「文系学部」は経済・経営・法・文・教育・国際教養学部です。

※申請を希望される場合は、アドミッションズセンター（042-691-4617）にご連絡ください。申請受付は2020年12月11日（金）までになります（申請書必着）。

7 創価大学特待生奨学金

給付型・返還不要

大学入学後の成績優秀者を奨励する奨学金です。

給付額	当該セメスターに15万円を支給
採用人数	各セメスター100名 年間200名
採用期間	当該セメスター
採用方法	各学部でセメスターGPA*上位者を採用
対象者	全学生（特別な申請手続きは不要・全学生の成績を審査し、採用者に通知）

※GPA(Grade Point Average)：大学入学後の成績指標。各科目の成績評価と単位数から成績点数を換算し、その成績点数の合計を総履修単位数で割った数値。

その他の奨学金

8 創価大学法曹会奨学金

給付型・返還不要

法曹をめざす方のための奨学金です。

対象者	法曹（弁護士、検察官、裁判官）になるため、法学部のGLP（Global Lawyers Program）に参加し、本学法科大学院への進学をめざす学生
給付額	当該年度の授業料・教育充実費の半額分を給付（半期ごとに給付）
採用人数	法学部1学年5名以内を採用（毎年選考）
選考方法	本学の入学試験およびGLP選抜試験の成績上位者から選考（2年次以降はGPA等により選考）

9 創価大学国際奨学金

給付型・返還不要

交換留学および大学の実施する海外短期研修プログラムに参加する学生を支援するための奨学金制度です。

対象者	交換留学試験合格者および大学の実施する海外短期研修プログラムに参加する学生（国際教養学部の実施する留学は対象外）
給付額	交換留学：5万円～70万円（留学先によって異なる） 海外短期研修：1万円～5万円（研修先によって異なる）
採用人数	交換留学：毎年度100名程度 ・ 海外短期研修：毎年度300名程度
申込方法	交換留学およびプログラムに合格後、手順に従って申請 ※他団体の返還不要の奨学金との併用は不可

10 創価大学国際教養学部牧口記念教育基金会留学研修奨学金

給付型・返還不要

国際教養学部の実施する必修の海外留学を支援するための奨学金制度です。

対象者	国際教養学部の実施する必修の海外留学に参加する学生
給付額	年度によって異なる（10万円程度）
採用人数	年度によって異なる（他団体の返還不要の奨学金との併用は不可）
申込方法	特別な申請手続きは不要・採用者には個別に通知

※詳細は、国際教養学部事務室（042-691-6904）にお問い合わせください。

11 創友会ふるさと給付奨学金

給付型・返還不要

創価大学卒業生団体の運営する奨学金です。

出願	受験前の12月中旬ごろまでに創友会総支部長の推薦を受け、1月中旬までに出願書類を創友会総支部長に提出
提出書類	①願書（保証人の同意が必要）②大学入学共通テスト 結果閲覧承諾書
給付額	70万円（入学前に一括給付）
採用人数	原則各県1名（加えて方面採用枠若干名）
対象者	①創友会員の子・孫、または地域の受験生で、創価大学を志望し受験する者 ※ただし、大学入学共通テスト利用入試（前期3科目方式または前期4科目方式）での受験が条件 ②各県の創友会総支部長の推薦のある者

※出願手続きの詳細は、創友会事務局（042-691-1300）にお問い合わせください。

学外奨学金・貸付制度 創価大学以外の団体が実施する奨学金です

● 高等教育の修学支援新制度

減免型・給付型・返還不要

支援内容	<p>○対象者には入学金及び授業料の減免と、生活費のための奨学金が給付（返還不要）</p> <p>私立大学生の減免額（年額）：入学金上限約26万円 授業料上限70万円 私立大学生の給付額（月額）*：自宅生38,300円（年間約46万円） 自宅外生75,800円（年間約91万円） *生活保護世帯または児童養護施設出所者等で保護者等と同居する学生には月額42,500円（年間51万円）給付</p> <p>◎家計基準の区分に応じて、上記支援標準額の全額、3分の2、3分の1の支援が受けられます。</p>
対象者	<p>○国の要件を満たした大学等に在学する学生であること（2～4年生も含む）</p> <p>○家計基準、成績基準の両方を満たすこと</p> <p>*高校卒業後2年以内の方、高卒認定試験合格後2年以内の方も申し込み可能です（年齢による制限があります）。 *その他に国籍や在留資格による基準もあります。</p>
家計基準	<p>○家計基準は住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯（3段階で支援）</p> <p>以下の算式により算出された額について、保護者、学生等の合計額が基準額に該当すること 【算式】市町村民税の所得割の課税標準額×6%－（調整控除の額＋税額調整額）* *政令指定都市に市民税を納税している場合は、（調整控除の額＋税額調整額）に3/4を乗じた額</p> <p>第Ⅰ区分（標準額の全額支援）：100円未満（市町村民税所得割額が非課税となる者を含む） 第Ⅱ区分（標準額の2/3支援）：100円以上～25,600円未満 第Ⅲ区分（標準額の1/3支援）：25,600円以上～51,300円未満</p> <p>◎日本学生支援機構のホームページでシミュレーションすることができます。 日本学生支援機構 進学資金シミュレーター https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html</p>  <p>*保有する現金等の資産（預貯金・有価証券等）が2,000万円（父子母子家庭は1,250万円）以上の場合、対象外となります。</p>
成績基準	<p>○成績基準は高校時の成績だけでなく、学習意欲を確認</p> <p>高校2年次（申込時）までの評定平均値が3.5以上 評定平均値が3.5に満たない場合、レポート等により学習意欲が確認できれば申し込み可能 *高卒認定試験合格者は評定平均値を問わず、レポート等の提出も不要です。</p>
採用期間	<p>採用年度から4年生まで</p> <p>*入学後の成績および家計状況について継続審査があります。 *毎年夏に実施される家計状況の審査結果に応じて区分が変更されることがあります。</p>
出願時期	<p>予約採用 ⇒ 高校3年時7月頃（在学高校の奨学金担当者に申し出てください） 在学採用 ⇒ 大学入学後、4月初旬開催予定の奨学金説明会に出席</p>
注意事項	<p>第Ⅰ区分、第Ⅱ区分の支援対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与不可 第Ⅲ区分の対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与月額が2万円程度に制限</p> <p>*日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）は併用可能です。 *創価大学独自の給付奨学金制度および地方公共団体、民間団体の奨学金制度についても、各制度によって併給の可否が異なりますので、各制度の詳細をよくご確認ください。</p>

※通信教育課程に進学する場合も、上記の家計および成績基準を満たす場合は対象となります。ただし、支援される額は異なります。
 ※予期せぬ事情により家計が急変し、急変後の収入が家計基準を満たす場合、事由発生から3か月以内（入学前の事由は入学後2か月以内）に申し出ることで、年度の途中からでも支援を受けることができる「高等教育の修学支援新制度（家計急変）」があります。
 ※その他、制度の詳細は以下のホームページをご確認ください。
 文部科学省 ホームページ：<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>
 日本学生支援機構 ホームページ：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

○創価大学に入学した場合の入学金・学友会費を含む1年次の減免額と納付額（第Ⅰ区分対象者）

	経済・経営・法	文・教育	理工	看護	国際教養
入学金減免額	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
授業料減免額(年間)	600,000円	620,000円	700,000円	700,000円	700,000円
納付額(年間)	319,000円	319,000円	619,000円	639,000円	459,000円

※上記金額は支援標準額の全額支援対象者となった場合の金額です。支援区分に応じて、減免額が3分の2、3分の1になります（100円未満切り上げ）。
 ※入学手続き時の納付額は、合格通知発送時に送付する入学手続要項をご確認ください。

●日本学生支援機構 第一種・第二種奨学金 ※予約制度有り

	第一種奨学金 貸与型・無利子	第二種奨学金 貸与型・有利子
貸与月額	自宅生：2万円、3万円、4万円、5万4千円（最高月額） 自宅外生：2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円（最高月額） ※最高月額は機構の定める基準を満たした場合のみ選択可能	2万円から12万円のうち1万円単位で選択
利子	なし	年利0.07%（2020年3月現在・利率固定方式） ※利率は上限年利3%
出願条件	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（高校での評定平均値3.5以上）と「家計に関する基準」の両方を満たしていること ※低所得世帯は基準なし	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（標準的な成績であること）と「家計に関する基準」（第一種より緩やかな基準）の両方を満たしていること
貸与期間	採用年度から4年生まで（継続審査あり）貸与開始月は4月	
出願時期	①予約採用⇒高校3年時4月～7月（在学高校の奨学金担当者に申し出てください） ※予約採用者は期日までに手続きをすることによって、大学入学後4月から入金開始 ②在学採用⇒大学入学後、4月初旬開催の奨学金説明会に出席 ※在学採用者は採用後、6月に初回入金（4月～6月分がまとめて入金）	
注意事項	「高等教育の修学支援新制度」の第Ⅰ区分、第Ⅱ区分の支援対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与不可 第Ⅲ区分の対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与月額が2万円程度に制限 ※日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）は併用可能です。	

機構ホームページ：<http://www.jasso.go.jp>

※出願し採用になれば一種と二種の併用貸与も可能です。

※家計が急変した場合、1年以内に申し出ることにより、第一種奨学金と第二種奨学金の内、その時点で貸与を受けていない方の奨学金を事由発生年月まで遡って貸与を受けることのできる「緊急・応急採用」制度があります。

貸与型奨学金制度を利用する場合は、返還総額と月々の返還額を事前に確認し、借り過ぎに注意してください。

●日本学生支援機構 入学時特別増額貸与奨学金 ※予約制度有り **貸与型・有利子**

入学後、初回入金時1回限り、増額して貸与を受ける制度です。

貸与額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（利息は第二種奨学金の利率に0.2%上乗せされ算出）
出願条件	利用する場合は、以下の①②のどちらかの条件を満たすこと ①奨学金申込時の家計状況が、機構の定める基準（認定所得金額0円以下）を満たす場合 ②日本政策金融公庫の実施する「国の教育ローン」（下記を参照）に申し込み、公庫が定める要件を満たした上で、融資を断られた場合

●全国労働金庫協会 入学時必要資金融資 **貸与型・有利子**

入学後に貸与する日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を担保にして、入学前に「ろうきん」から融資を受ける制度です。

貸与額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（利息は年利1.71%程度）
申請条件	日本学生支援機構奨学金の「入学時特別増額貸与奨学金」を、高校在学時に予約で申請した方

※予約採用後に発行される「日本学生支援機構奨学金 採用候補者決定通知」に「入学時特別増額貸与奨学金（有利子）（日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込必要）」と記載されている場合、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申請し、融資を断られたことを証明する書類が必要になります。

※融資を実際に申し込む際には、学生本人同伴のもと、本人確認書類や学費納付書などの提出が必要になります。詳細はお近くの「ろうきん」にお問い合わせください。

●自治体・公共団体および企業の実施する奨学金 **給付型・貸与型**

各団体によって基準を設け募集を行っています。返還義務のない奨学金や無利子のものもあり、学生にとって利点が多くあります。予約型の奨学金制度を設置している団体もありますので、詳細は各団体にお問い合わせください。

●日本政策金融公庫 国の教育ローン **貸与型・有利子**

申し込みは一年中いつでも可能です。合格発表前でも申し込みができますのでお早めにお申し込みください。

合格発表前、進学を決めた時点で相談、申し込みをすることにより入学手続き時の入学金・授業料や留学、通学、下宿にかかる費用の支払いなど幅広く利用することができます。申し込みから10日前後で審査され、融資の決定からさらに10日程度で送金されます。

対象者	大学などに入学・在学する方の保護者および親族で、世帯の年間収入が基準額を満たす方
融資額	学生1名につき350万円以内（自宅外通学や海外留学等の一定の要件を満たす場合450万円以内）
返済期間	15年以内 ※父子母子家庭・世帯年収200万円以内等の方は18年以内
融資利率	年1.70%＜2020年5月現在＞ ※父子母子家庭・世帯年収200万円以内等の方は1.30%
その他	(財)教育資金融資保証基金の保証（保証料が発生）または連帯保証人（1名以上）が必要です。

・テレフォンサービス：ナビダイヤル 0570-008656 【詳細】<http://www.jfc.go.jp/>

●銀行・金融機関の教育ローン **貸与型・有利子**

銀行、金融機関によって、融資額、金利、収入基準額が異なります。詳細は直接銀行にお問い合わせください。

●楽天銀行教育ローン ●セディナ学費ローン（三井住友フィナンシャルグループ）

大学が提携している教育ローンです。インターネットなどからお申し込みください。

人の心に寄り添い希望を送る弁護士にあきらめずに掴んだ私の夢

私は幼い頃から母子家庭で育ちました。母は3つの仕事を掛け持ちして、私たち兄弟3人を必死に育ててくれました。裕福ではありませんでしたが、どんなときも優しく、困っているのを見たと放ってはおけない太陽のような母のお陰で、仲良く明るい家庭で幼少期を過ごしました。

高校生になった私は反抗期を迎え、友達の家に入り浸り、家に帰らない日が増えるようになりました。ほとんど受験勉強をしないまま地元愛知県内の大学を受験し、案の定不合格。今後自分の人生はどうなるのだろうと、不安な気持ちのまま高校を卒業しました。



石黒 智子 さん (経営学部 2013年卒業)

人生をあきらめていました。努力することから逃げてきた自分の人生は良いものにはならないと思いこんでいました。

「今から、ここから」夢に向かって挑戦

私の心中を察した母は、創立者のことばを紹介し、励ましてくれました。「過去を嘆く必要はない。今から、ここからの決意で、どんな人生にも変えていける」。私ははっとしました。小学生の頃、母が一番悩んでいたとき「相談したらこんなに心が軽くなるなんて、弁護士って本当にすごい仕事だね」と話しており、将来は私も弁護士になりたい



二度、特待生に採用 念願の法科大学院へ

経済的な余裕はありませんでしたが、貸与奨学金を利用して、創価大学給付奨学金に二度採用していただきました。副寮長をしている

と思っていたことを思い出したからです。自分の夢から目を背けていたことに気づき、もう一度夢に挑戦しようと決意しました。一年間の浪人生活は本当に大変でしたが、創価大学経営学部合格することができました。

大学に入学後は、必死に勉強しました。3年間も寮生活をさせていただき、3年次には副寮長として寮生のために尽くしました。寮の友人たちと夢を語り合い、ともに学び、ともに笑った時間は、かけがえのない宝物です。

ときには、二度、特待生にも採用され、安心して大学生活を送ることができ、無事、創価大学法科大学院に進学することができました。

法科大学院入学後は、想像よりも遥かに大変でした。法学部出身ではないため、はじめは授業にもついていけず、何度泣いたかわかりません。ですが、必死の努力の甲斐あって徐々に成績も伸び、成績優秀者として給付奨学金をいただくこともできました。

司法試験が近づくと、壁があまりにも高く感じられ、恐怖から勉強が手につかなくなりました。司法試験は4日間にわたって実施されます。一度目も二度目も、試験の途中で「もうだめだ」と思ってしまい、その後の試験をあきらめてしまっていました。

三度目は、最後の瞬間まで絶対にあきらめないと決めて挑戦。しかし、ある試験科目で大失敗をしてしまいました。もうだめかもしれないと思った時、お世話になっている先輩から「ここが勝負だよ」と励まされ、「今からベストを尽くそう」と奮起。晴れて司法試験を突破することができました。昨年、司法修習を終え、現在は弁護士として都内の法律事務所に勤務しています。

創大Days

石黒さんの大学生活や司法試験への挑戦などさらに詳しく知りたい方は創価大学ホームページをご覧ください

私を信じてくれる人がいた

高校生の頃、私は私の人生をあきらめていました。ですが、母は私の人生をあきらめませんでした。私が家に帰らなかつたときも、母は校門や友人の家の前で、何時間も私のことを待ち続けてくれました。私を見つけては「おいしいものを食べにいこう」と。一度も叱らず、私の声に耳を傾け、笑顔で包み込んでくれました。私が自分の可能性を信じられなくても、母は私のことを信じてくれました。私が自分の人生から眼を背けても、母は私と向き合い続けてくれました。今、私の胸に光る、夢にまで見た弁護士ハッジは、母の「あきらめない勇氣」の結晶です。

これからは、私が困っている人の心に寄り添い、希望を送れるような弁護士へと成長していきます。

お問い合わせ先 創価大学 学生課 奨学金係

☎ 042-691-2161 FAX 042-691-9475

平日/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 syougakukin@soka.ac.jp

★奨学金の情報は本学ホームページにて詳細を公開しています。情報は今後更新される場合がありますので、必ずご確認ください。 ▲本学奨学金ホームページ